「いいとこ撮り」は、広報担当者が見つけた町の
魅力やホットな話題をお届けするコーナーです。

いいとこ撮り！

「公設塾」開設　オンライン学習で学力向上

妹背牛町教育委員会は8月25日から、小学4～6年生を対象とした学習支援事業「公設塾」を始めました。20人が申し込み、オンライン学習を通じて児童の学力向上と基礎学力の定着を図ります。

教材は、道内で学習塾を運営する「練成会グループ」（札幌市）のオンライン学習プログラム。児童一人ひとりが1週間ごとに学習計画を立てる「マネジメントノート」を用いることで、家庭学習の進捗や理解度も確認できます。

さらに、毎週月曜日に妹背牛小学校のパソコン室で開かれる塾では、町教委の職員が支援員として、児童の学習をサポートします。

7月29日に町保健センターで開かれた説明会で、廣澤勉教育長が「これからの時代は、思考力・判断力・表現力が求められます。公設塾は、自分で目標を定めて、個人個人に合った学習を進めていくための支援の場」と、趣旨を説明しました。

続いて、練成会グループの関連会社「キョウリョク」（札幌）企画開発部の阿部不二雄部長が「都市と地方の教育格差をなくし、中学受験を前に自分の勉強方法に自信を持ってもらいたいです」と、述べました。

オンラインでの映像授業は、学校の教科書に準拠しており、学年に応じて国語・算数・理科・社会・英語に対応。自分のペースで勉強に取り組めるほか、分からない単元は繰り返し視聴できます。

公設塾の説明会に出席した児童と保護者

わたしのもせうし時間

「わたしのもせうし時間」は、
妹背牛町で暮らす人たちに
スポットを当てた不定期企画です！

歯科技工士から転身
三山さんが地元・妹背牛神社の宮司に

旭川市で歯科技工士の仕事をしていた三山真司さんは、故郷の妹背牛町に帰郷し、妹背牛神社の宮司として第二の人生をスタートさせました。

深川西高を卒業後、旭川市の専門学校で歯科技工士の資格を取得。そのまま市内で仕事を続け、10年前に開業しました。

精力的に仕事をこなす一方、休日は趣味の旅行を満喫しました。その目的の一つが「神社巡り」。2年間で道内にある30～40カ所の神社を巡り、各神社のご当地おみくじシリーズ「えぞみくじ」十数種類を全て集めました。

そんな神社巡りを楽しんでいると、知人の神社関係者から、不在だった妹背牛神社宮司への誘いを受けました。

三山さんは悩んだ末、「神社に興味があるし、地元のためになるなら」と、歯科技工士からの転身を決意。2024年9月に三重県で新職の資格を取得しました。

「安産祈願」「七五三」「合格祈願」「厄除け」など、神聖な場所で人生の節目に立ち会う三山さんは「地域に愛され、一人でも多くの人に目を向けてもらえる神社にしたい」と、前を向きます。

妹背牛神社の宮司になった三山さん